

## 第8回 滋賀県多職種連携学会研究大会開催要領

### 1. 目的

保健・医療・福祉・就労・教育・行政関係者等が一堂に会し、研究発表や意見交換、講演会などを実施することで新たな知識を得る。また、多職種による協働実践の報告の場として、より一層、本県における質の高い連携または、リハビリテーション活動へと発展することを目的に研究大会を開催する。

### 2. 主催：滋賀県多職種連携学会（構成団体は別表）

### 3. 日時：令和5年12月3日（日） 13:00～16:30

### 4. 会場：オンラインでの開催

### 5. 学会長：一般社団法人滋賀県医師会 会長 越智 眞一

### 6. 大会長：一般社団法人滋賀県病院協会 大野 辰治

### 7. 内 容

#### ○学会テーマ

『多職種連携で支える、その人らしい生き方』

#### ○基調講演

「自分らしく生きるとは ～そのために多職種でできること～」

内 容：自分のこれからを考えることは、本人にとっても、家族にとっても、非常に大切なことである。ACP を切り口に、その人らしい人生において家族をはじめ支援者がどういった形でACP を考えて行けばよいか、多職種連携におけるACP についてご講演いただく。  
また、余命宣告された方や病気の方だけでなく、現在健康な方も視野に入れた内容をご講演いただく。

講 師：木澤 義之 氏 （筑波大学 医学医療系 教授）

#### ○企画演題

「さまざまな分野での連携 ～地域における薬剤師と多職種での連携～」

内 容：湖東圏域で活躍されている薬剤師とケアマネジャーにご登壇いただく。地域における薬剤師と多職種との連携について事例を交えてお話いただく。

講 師：池田 富美子 氏 （一般社団法人彦根薬剤師会 会長、リリー薬局）  
辻 広美 氏 （ケアプランセンターどりーむ ケアマネジャー）

#### ○一般演題

口述発表 （発表7分 ※事前に各個人で録画、当日に質疑応答5分）

○活動実践報告

口述発表（発表5分 ※事前に各個人で録画、当日に質疑応答5分）

8. 参加対象者：保健・医療・福祉・就労・教育・行政関係者等 約150名

9. 申し込み方法：しがネット受付サービス

10. 参加費：無料

11. 事務局：滋賀県立リハビリテーションセンター内（滋賀県守山市守山5丁目4-30）

別表

一般社団法人滋賀県医師会
一般社団法人滋賀県病院協会
一般社団法人滋賀県歯科医師会
一般社団法人滋賀県薬剤師会
一般社団法人滋賀県作業療法士会
一般社団法人滋賀県介護福祉士会
一般社団法人滋賀県歯科衛生士会
一般社団法人滋賀県介護老人保健施設協会
公益社団法人滋賀県私立病院協会
公益社団法人滋賀県看護協会
公益社団法人滋賀県理学療法士会
公益社団法人滋賀県社会福祉士会
公益社団法人滋賀県栄養士会
公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会
社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会
滋賀県言語聴覚士会
滋賀県介護支援専門員連絡協議会
滋賀県介護サービス事業者協議会連合会
滋賀県老人福祉施設協議会
滋賀県児童成人福祉施設協議会
滋賀県障害者自立支援協議会
滋賀県社会就労センター協議会
滋賀県社会就労事業振興センター
滋賀県保健所長会
滋賀県

(※順不同)